

宮沢賢治生誕 130 年記念朗読劇

よだかの星 YODAKA NO HOSHI

原作 宮沢賢治 / 脚本・演出 坂田裕一



朗読
神山浩樹
(IBC 岩手放送)



朗読
甲斐谷望
(IBC 岩手放送)



チェロ演奏
三浦祥子
(いわてフィルハーモニー所属)

2026年 2月1日(日)

11:00/14:00

開場は各公演 30 分前

会場 もりおか啄木・賢治青春館
2階展示ホール

主催 / もりおか啄木・賢治青春館 (指定管理者 NPO 法人いわてアートサポートセンター)

共催 / 盛岡市 後援 / IBC 岩手放送

いわて観光キャンペーン推進協議会 令和7年度冬旅コンテンツ開発支援事業

イラスト / ナカムラユウコウ

「よだかの星」

醜い姿ゆえに仲間から嫌われた鳥・よだかが、鷹に改名を迫られ絶望し、夜空へ飛び続ける物語。

生きるために虫の命を奪ってきた自分もまた加害者だと苦しみ、太陽や星に助けを求めますが、居場所は見つかりません。力尽きる瞬間、よだかは静かな光となり、ひとつの星へと昇華します。弱者の孤独と尊厳、そして救いを描いた宮沢賢治の代表的な童話です。

※「よだかの星」のほか、詩「永訣の朝」の朗読も行います

文学と語り芸術のまち盛岡

もりおか啄木・賢治青春館
館長 坂田裕一

盛岡は啄木・賢治の時代から「文学の町」であり、「朗読」や「朗読劇」のさかんな町でもある。豊富な文学作品に加え、朗読好きのアナウンサーや演劇人などがいて沢山の朗読・朗読劇作品が生まれてきている。

もりおか啄木・賢治青春館では、啄木・賢治の作品を朗読・朗読劇として継続上演し、啄木・賢治の作品顕彰を推進したい。朗読の一番人気は宮沢賢治作品だろう。今回上演する「よだかの星」は「注文の多い料理店」「セロ弾きのゴーシュ」などとともに朗読の人気作品の一つである。今回は、賢治生誕130年記念事業の幕開けとしての特別上演で、IBC 岩手放送の神山浩樹さん、甲斐谷望さんの実力ある人気アナウンサーの朗読に、いわてフィルハーモニーの三浦祥子さんのチェロ演奏を加え、情感豊かな「よだかの星」をお届けする。



朗読
神山浩樹
(IBC 岩手放送)



朗読
甲斐谷望
(IBC 岩手放送)



チェロ演奏
三浦祥子
(いわてフィルハーモニー所属)

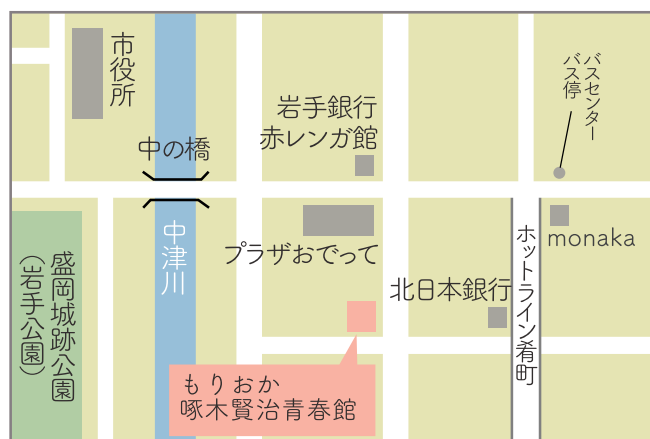
IBC岩手放送アナウンサー
花巻市出身
担当番組
テレビ『わが町バンザイ』
『金 YO!瓦 BAN』
ラジオ『ワイドステーション』
『のびのびサタデー』他

IBC岩手放送アナウンサー
宮古市出身
担当番組
テレビ「ニュースエコー
(月～水・金)」
「わが町バンザイ」

岩手県盛岡市在住。盛岡白百合学園高等学校、愛知県立芸術大学器楽科卒業。
チェロを黒沼俊夫、井上頼豊、天野武子、スザンヌ・バスラーの各氏に師事。
ラトゥール・カルテット、いわてフィルハーモニー・オーケストラ所属。音楽教室を主宰。

「よだかの星」 宮沢賢治生誕 130 年記念朗読劇

2026年 2 月 1 日 日
11:00/14:00
開場は各公演 30 分前



会場

もりおか啄木・賢治青春館
2 階展示ホール

料金

一般	前売り 1500円	当日 1800円
学生 (小学生以上)	前売り 1000円	当日 1200円
幼児無料 (但し、2歳以下の乳児は入場不可)		

チケット取扱

もりおか啄木・賢治青春館
もりおか町家物語館
風のスタジオ

ご予約・お問い合わせ

電話・メール・予約フォームより
NPO 法人いわてアートサポートセンター
019-604-9020/seishunkan@iwate-arts.jp

右記の予約フォームよりチケットの
ご予約が可能です

